

ニュータウンの再生について

市内最大の育ヶ丘団地は都市部へ通勤・通学する方々の住宅地として小野市の発展に寄与してきました。今でもなお、市内最大の人口が住む町ですが、令和5年4月末時点の高齢化率は38.15%、高齢者数は1,100人で、高齢化率もさることながら、高齢者数が非常に多いのが特徴です。育ヶ丘団地に限らず、丘陵地に造成されている市内の他のニュータウンも高齢化に付随した課題が今後出てくるため、まずは育ヶ丘団地が良い例を作る必要があると思います。その為、現在の市の事業で育ヶ丘団地に関連している舗装リニューアルの具体的な事業計画と地域のきずなづくり支援事業について質問致しました。地域のきずなづくり支援事業は町の人口規模に関係なく、一律の補助事業である為、各町の実態に合わせた運用にするなど見直しが必要ではとの考えです。また、空き家等の課題は団地に限った課題ではありませんが、育ヶ丘団地内における空き家・空き店舗の活用の可能性についても質問致しました。

予防接種記録について

予防接種記録は法律で5年間の保管が定められていますが、その後は各自治体の判断で運用ができます。5年で破棄してしまうと万が一の訴訟に市が充分に対応できない可能性があるため、新型コロナウイルスワクチン等の接種記録を長期保管することについて質問致しました。

創生おの（そうせいおの）です
よろしくお願い致します

安達哲郎議員(1期)、喜始真吾議員(2期)、山本悟朗議員(4期)、平田まみ(3期)の4名で会派を結成しました。私は今年度、会派の幹事長と議会運営委員長を担っております。見える議員活動、会派活動にも尽力して参ります。

この活動報告は「平田真実後援会」が発行しております。ご意見等は、小野市議会ではなく「平田真実後援会」宛てにお願い致します。お間違いのないようご注意ください。

連絡先：hiratamami0128@gmail.com

平田まみの姿勢

1

公開する

情報提供に努め
日々の活動を
お知らせします

2

つながる

on-line/off-lineともに
会える議員を
目指します

3

共に考える

意見交換を通じ
共に考えます



<https://hiratamami.com/news/>

活動報告を更新しています！



討議資料